

主題：神の王国の実際の中に生きる

メッセージ 10

霊にしたがって、また神の赦しを認識することによって、
他の人を顧みることによって王国の生活を生きる

聖書：マタイ 7:1-12. 18:1-35

I. マタイ第7章1節から12節は、王国の民が人を取り扱う原則に関してであり、王国の民に対する天的な支配が、彼らが霊にしたがって人を顧みることを要求することを啓示しています——参照、士 9:8-9：

A. 王国の民は、王国の天的な支配の下にへりくだった霊の中で生きており、常に他の人ではなく、自分自身を裁きます——マタイ 7:1：

1. もしわたしたちが義をもって人を裁くなら、主によって義をもって裁かれます(2節)。もしわたしたちがあわれみをもって人を裁くなら、主によってあわれみをもって裁かれます。あわれみは裁きに打ち勝つのです——ヤコブ 2:13。
2. わたしたちは人を取り扱うために、自分自身を拒絶して、彼らのことを考え、彼らに同情し、彼らに対してあわれみ深くなければなりません。わたしたちの兄弟の目にある木くずは、わたしたち自身の目にある梁を思い起こさせなければなりません——マタイ 7:3。
3. 梁がわたしたちの目に残っている限り、わたしたちのビジョンは不鮮明になり、わたしたちははっきりと見ることはできません——4-5節。

B. わたしたちは聖なるものを犬に与えたり、真珠を豚の前に投げたりすべきではありません。彼らがそれを足で踏みつけ、向き直って、わたしたちを引き裂くことがないためです——6節：

1. 「聖なるもの」は、神に属する客観的な真理を指しているに違いありません。「あなたがたの真珠」は、わたしたちのものである主観的な経験を指しているに違いありません。
2. 犬にはひづめがなく、また犬は反芻しません。豚はひづめが分かれています、反芻しません。ですから、両方とも汚れています——レビ 11:27, 7. 参照、使徒 10:1-15, 28。
3. IIペテロ第2章12節、19節から22節、ピリピ第3章2節の啓示によれば、マタイ第7章6節の「犬」と「豚」は、宗教的であってしかも清くない人々を指しています。
4. わたしたちは真理について、あるいは自分のキリストに対する尊い経験について人に話すとき、分け与えようとしているものを、彼らが受け入れる能力を持っているかどうかを、見抜いて決定しなければなりません。

C. わたしたちは人々と接触して彼らを取り扱っているとき、彼らと接触する正しい道を求め、捜し、門をたたかなければなりません——マタイ 7:7-8. Iテモテ 5:1-2：

1. 求めるとは普通の方法で祈ることであり、捜すとは特別な方法で嘆願することであり、門をたたくとは最も親密で最も熱心な方法で要求することです。

2. 王国の民が人と接触する最上の道は、王国にしたがっており、またその霊にしたがっています——マタイ 7:9-12. 参照、ルカ 11:13。
3. わたしたちは自分自身を神の中へと祈り込んで、彼の霊の中に具体化された豊富を受け取り、自分自身と、わたしたちの顧みの下にあるすべての人を養う必要があります—— 1-13 節。
4. わたしたちはあらゆることを十字架を通して、その霊によって行ない、キリストのからだのために、キリストを人の中へと供給することを学ばなければなりません——参照、歴代下 1:10。

II. 王国の生活、神・人の生活、召会生活を生きるために、わたしたちはへりくだっており、どの信者もさげすむのではなく、わたしたちの兄弟を愛し、わたしたちの兄弟を赦さなければなりません——マタイ 18:1-35. 5:48. 7:13-14. ローマ 14:17 :

- A. わたしたちは王国の生活を生きるために、へりくだっており、小さい子供のようにならなければなりません——マタイ 18:2-4。
- B. わたしたちは王国の生活を生きるために、人をつまずかせたり、どんなつまずきの石も置いたりすべきではありません—— 5-9 節. 参照、11:6。
- C. わたしたちは王国の生活を生きるために、小さな信者でさえさげすむべきではありません—— 18:10-14。
- D. わたしたちは王国の生活を生きるために、制限なくわたしたちの兄弟を赦すべきです—— 21-35 節 :
 1. わたしたちは罪を犯している兄弟を、七回を七十倍までも赦さなければなりません—— 21-22 節。
 2. 主がわたしたちを赦したように、わたしたちは人を赦さなければなりません :
 - a. 主に対するわたしたちの負債は、支払うのが不可能です—— 23-26 節。
 - b. 主がわたしたちの敗北したクリスチャン生活においてわたしたちの負債を赦したのは、わたしたちと主との交わりを回復するためです—— 27 節。
 - c. わたしたちに対する他の人の負債は、主に対するわたしたちの負債に比べるととても小さいのです—— 28 節。
 - d. もしわたしたちが自分に対して罪を犯している兄弟を赦さないなら、それは他の兄弟たちを悲しませ、彼らはこの事柄を主にもたらすでしょう—— 28-31 節。
 - e. もしわたしたちが今日、心から兄弟を赦さないなら、来たるべき時代に王国の中へと入ることが許されないでしょう—— 32-35 節. 参照、マルコ 11:25-26。

III. わたしたちは、神の王国の中には五種類の赦しがあることを見て認識しなければなりません :

- A. 永遠の赦しがあります。これは命の事柄と関係があります :
 1. わたしたちの救いと共に来る赦しは、永遠の赦しです。
 2. わたしたちはいったん赦されるなら、永遠に赦されます。わたしたちは永遠にわたって永遠の命を受け、永遠に義とされます——ルカ 24:47. ローマ 4:7-8. 詩 103:12。
 3. わたしたちは主イエスの中へと信じたその瞬間、すべての罪が赦されます。主はわたしたちのすべての罪を取り除き、わたしたちには神の御前に何の罪の痕跡も

残されません——使徒 10:43. ヘブル 8:12。

B. 手段となる赦しがあります。これは召会と関係があります：

1. 主は聖霊を彼の召会に送るとき、召会が地上での彼の代行となるように命じました。赦しは今や召会を通して与えられます——ヨハネ 20:22-23。
2. 手段となる赦しは、神が人を通して赦しを宣言することです。もしある人が新しく救われても、赦しの意義を知らないなら、召会の代表が立ち上がって彼にこう言えば良いのです、「あなたは今日、主を受け入れました。あなたは主に感謝することができます。なぜなら、彼はあなたの罪を赦してくださったからです！」。

C. 回復される赦しがあります。これは交わりと関係があります：

1. わたしたちが日常生活で罪を犯すとき、わたしたちの良心はわたしたちを罪定めし、わたしたちと神との交わりは中断します——使徒 24:16. I テモテ 1:5. II テモテ 1:3, 9。
2. 命における神に対するわたしたちの御父・子の関係は決して変わることはありませんが、罪がわたしたちと神との交わりを破壊することがあります。わたしたちは神に対する自分の罪と違犯を告白しなければならず、そうしてはじめて交わりにおけるわたしたちの赦しは確実にされることができます——I ヨハネ 1:7, 9. 2:1-2。
3. もしわたしたちが自分の兄弟に対して罪を犯したなら、彼らに対しても告白しなければなりません——マタイ 5:23-24。
4. わたしたちは自分自身を神との恒常的な交わりの中に維持しなければなりません。わたしたちは神に来るとき、自分の罪深い行動を正直に認め、彼に赦しを求めなければなりません。わたしたちがこうするなら、わたしたちと神との交わりは回復され、わたしたちの心は救いの喜びで満ちるでしょう——詩 51:12. 箴 15:13 前半. 17:22 前半. 15:15 後半。
5. クリスマン生活の秘訣は、わたしたち自身を神との恒常的な交わりの中に維持しています。もしわたしたちが失敗するなら、神に赦しを求めなければならず、神と持っていた甘い交わりを回復しなければなりません——I ヨハネ 1:9。

D. 行政上の赦しがあります。これは懲らしめと関係があります：

1. この種の赦しは神の案配、主権、懲らしめ、御手と関係があります。神の行政は、彼が事を行なう方法です。それは彼の行政です。
2. 神の行政上の赦しは、神がわたしたちを管理し、支配し、対処する方法と関係があります——ガラテヤ 6:7。
3. わたしたちが神に対して罪を犯すとき、彼はわたしたちを赦し、わたしたちと彼との交わりは回復されることができますが、彼はわたしたちに対する彼の方法を変えるかもしれません。
4. ダビデは自分の罪を告白し、自分の咎を認めて、神によって赦されようとしたが（サムエル下 12:13. 詩第 51 篇）、神はウリヤの妻から産まれた子を死なせ、剣がダビデの家から離れないようにしました（サムエル下 12:7-15）。
5. わたしたちが神の行政上の懲らしめの下にいるとき、わたしたちにできる唯一の事は、彼の力ある御手の下でへりくだるのを学ぶことです（I ペテロ 5:5-7）。わ

たしたちは神の行政上の御手を拒絶すればするほど、ますます問題に遭遇します。

6. モーセはメリバで岩を打った後（民 20:10-12, 24. 27:14）、神の行政上の御手の下に陥りました：
 - a. 神が怒っていないときにモーセは怒って、神の聖なる性質において神を正しく代行せず、岩を二度打ったとき、神のエコノミーにおける神の言葉を守りませんでした。ですから、モーセは神の聖なる性質と彼の神聖なエコノミーの両方に違犯したのです。
 - b. このゆえに、たとえモーセは神に対して親密で、神の仲間と考えられていても（出 33:11）、良き地へと入る権利を失いました。
 - c. わたしたちが神の民に関して言い行なうすべてにおいて、わたしたちの態度は神の聖なる性質にしたがっていなければならず、わたしたちの行動は彼の神聖なエコノミーにしたがっていなければなりません。これが彼を聖とすることです。
7. 人に寛大であることを学び、常に赦すことを学んでください。もしあなたが軽率に人を非難し、容易に人を罪定めし、人の振る舞いについて不平を言い続け、自分が彼らから受ける虐待を数え続けるなら、これはあなたを神の行政上の御手の下にもたらしめます。もしあなたが人に対して厳格であるなら、神もあなたに対して厳格になります——マタイ 6:15. 18:23-35：
 - a. わたしたちは神を畏れ、神をあがめ、神を尊重し、神を尊び、神に対する恐れの中にいることを学ばなければなりません——詩 2:11-12. 86:11. II コリント 5:10-11. イザヤ 11:2。
 - b. 人が問題の中にいるとき、それはわたしたちが彼らを助ける時であって、彼らを非難する時ではありません——参照、創 14:14-16。
 - c. 今日ただ一つの理由でみじめに墮落してしまった多くの兄弟がいます。すなわち、彼らは過去あまりにも厳格に人を非難したのです。彼らの弱さの多くは今日、彼らが過去、非難したまさにその弱さです。
 - d. わたしたちは神の行政上の御手を避けたいなら、人に対して寛大でなければなりません。わたしたちが互いに愛し担い合うことを学びますように——エペソ 4:32。
- E. 王国の赦しがあります。これは行政と関係があります：
 1. もしわたしたちがあまりにも厳しく人を扱い、あるいはこの時代に赦さない霊を持つなら、王国時代に懲らしめられるでしょう——ルカ 6:38. マタイ 18:33-35。
 2. もしわたしたちが悪い方法で人を扱い、あわれみなく非難するなら、神は将来、わたしたちを同じように扱うでしょう——7:1-2。
 3. 主がわたしたちに恵みを賜わり、人にあわれみを示し、悪く、鋭く、厳格に人を扱うのではない者としてくださいますように。それは、わたしたちがかの日に神からあわれみを得ることができるためです——5:7. 参照、II テモテ 1:16, 18。